

今後の行事

・ ぼんち祭り パレード参加

7月19日(金)北見市中心街

昨年に引き続き、今年もパレードに参加します。留学生の皆さんも一緒に踊って、楽しみましょう!

・ 短期留学生修了式

7月31日(水) 講堂 17:00~

13名の留学生の帰国を前に、修了証書の授与があります。フォトムービーで一年間を振り返ります。

・ 語学研修 ドイツ

8月8日(木)~8月31日(土) 引率:許斐ナタリー国際交流センター長

ドイツフライブルクで、ドイツ語研修、環境対策学習、近隣国への研修旅行が予定されています。

・ 語学研修 カナダ

8月31日(土)~9月30日(月) 引率:ボゼック講師

カナダのトロントで、英語研修、ホームステイ、ナイアガラの滝見学など目白押しです。

学事日程(7月~9月)

7月16日(火)

月曜日授業振替

7月31日(水)~8月7日(水)

前期定期試験

8月8日(木)~9月23日(月)

夏季休業日

9月6日(金)

学位記授与式

9月24日(火)~27日(金)

集中講義・補講等調整期間

生け花の様子 (上段左 ☆最優秀賞☆ ポドラグチャさん(モンゴル))



第93巻(2013年4月・5月・6月)

2013年6月28日発行

発行所:北見工業大学国際交流センター

〒090-8507北見市公園町165

TEL: 0157-26-9370

FAX: 0157-26-9373

Email: kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp



北見工業大学トップページ(HP)

<http://www.kitami-it.ac.jp>

国際交流センター

北見工業大学トップページ》大学概要》

附属施設》国際交流センター



北見工業大学

留学生数(H25.6)

総数 109名

【内訳】

学部生 48名

大学院生 34名

研究生 3名

特別聴講生 24名

現在、北見工業大学には9か国109名の留学生が留学生活を送っています。今年度は本学として初めて中米パナマからの学生の受入れも行っていきます。年々国際色豊かなキャンパスに様変わりつつあります。日本人学生の皆さんも積極的に声をかけ、留学生との交流を図ってください。

海外留学  
パンフレット  
完成!

国際交流センターでは今年度新たに「海外留学パンフレット」を作成しました。これにより、国際交流協定校への正規留学に加え、短期語学研修、文化交流について容易に把握することができます。留学等に興味のある学生は、一度手に取り、参考にしてみてください。そして、世界に一步踏み出しましょう。



目次

留学生オリエンテーション、留学説明会 P.1

インターナショナル フード フェスティバル

留学生歓迎会、野草観察会 P.2

大学祭、インターナショナルCアワー P.3

学事日程、今後の行事 P.4

新入学 留学生 オリエンテーション [4月8日(月)/11日(木)・A208]

新規留学生を対象としたオリエンテーションが短期(16名)、学部別(11名)に実施された。

当日は、許斐ナタリーセンター長より留学生活をスタートする上で必要な各種手続きの説明やごみの分別、学内の行事等について説明を受けた。

この他、北見警察署の警察官より交通安全、犯罪、緊急連絡先についての説明も受け、留学生達は留学生活に関わる内容について理解していた。

オリエンテーション終了後は日本人のチューターとの顔合わせもあり、留学生活が一層安心して送れる体制が構築され、ようやく留学生活の第一歩を踏み出せたようである。



海外留学説明会 [4月24日(水)・A208]

学生の海外派遣を推進するために実施されている「短期語学研修」及び「交流研修」に関する説明会が34名の学生の参加のもと実施された。今年度は、夏季休暇中に①カナダでの英語研修、②ドイツでのドイツ語研修、③韓国での交流研修を計画しており、各研修に興味を抱いている学生が参加し、説明に聞き入っていた。

参加学生達には、多くの経験をできてほしいと願っている。尚、来年の春休みに実施する中国語研修については、10月に説明会を実施する予定である。

今年は、政権交代後急激な円安傾向に陥り、昨年度と比べ研修費用が高まった状況にあるものの、最終的には、カナダ7名、ドイツ6名、韓国10名の学生からの申し込みがあり、全研修が実施される運びとなった。



## インターナショナル フードフェスト

【5月11日（土）・  
北見市民会館】

北見国際実行委員会主催の「インターナショナルフードフェスト」が北見市民会館にて行われた。今年で実質3回目となるフードフェストには、昨年に引き続き、本学より多くの留学生も参加した。

留学生達は、自国の料理を市民の方々を知ってもらおうと意気込んでいた。本学からは、留学生が中国料理、韓国料理、台湾料理、モンゴル料理のブースを出展したのに加え、許斐ナタリー国際交流センター長もドイツ料理のブースを出展した。

参加者は、会場入りと共に各国の料理を早速堪能していた。今回も夜からの開催ということもあり、多くの人々が一堂に集い、留学生との交流を深めていたようである。



## 留学生歓迎会

【5月28日（火）・研究者交流施設前芝生】



新入学の27名の留学生を歓迎し、留学生歓迎会が今年も盛大に行われた。当日は、例年以上に気温も高く、天候にも恵まれ、パーベキュー日和となった。冒頭、鮎田学長よりご挨拶と乾杯があり、留学生と教職員が一つの鉄板を囲みながら、和気あいあいとパー

ベキューを堪能していた。今回の歓迎会には、留学生、日本人学生、教職員など総勢120人余りが参加し、盛大に執り行われた。食事の途中、留学生27名の自己紹介があり、皆日本語を屈指し、緊張の面持ちで自己紹介を行っていた。また、アトラクション・タイ

ムでは、歌やダンス、ギター演奏もあり、昨年以上に多くのパフォーマンスが披露された。会の最後には高橋理事より、「失敗を恐れず、果敢に挑戦してほしい」というお話があり、留学生達は各自心に刻み込んでいた。

## 野草観察会

【6月13日（木）・ところ遺跡の森】



本学の山岸喬特任教授（前国際交流センター長）を講師に迎え、今年も野草観察会が開催された。今年は開催地を常呂遺跡の森に変更し、肌寒い中総勢54名が参加し、行われた。森の中には数々の野草があり、留学生達は実物を見ながら解説に耳を傾けていた。野草の中には硬いものもあり、当時は刃物を研ぐために

使用されていたとのことで、留学生達は実演に見入っていた。また、大きなフキは雨をしのぐために使用していたとの説明があり、学生達はその様子を目にし、まるでトトロのようだと言っていた。その後、常呂遺跡の森の中にある常呂町埋蔵文化センター「どきどき」で土器や竪穴式住居も見学し、

オホーツク文化についても若干触れることができた。昼食は、「ワッカ原生花園」で食事を取り、その後レンタサイクルや馬車でそれぞれ束の間の自由時間を楽しんでいた。今回も本会の開催にあたり、国際ソロプチミスト北見様より留学生支援事業にご寄附を賜った。改めて感謝申し上げる次第である。



## 大学祭

【6月22日（土）・23日（日）・キャンパス内】



第51回北見工業大学祭「夏だ！祭りだ！工大祭2013!!!」が晴天に恵まれた中開催された。当日は、サークル展示や研究公開、模擬店やライブなど、数々の催し物が用意され、多くの人でにぎわっていた。

国際交流センター主催としては、毎年恒例の「お茶会」、「生け花教室」、「着物着付け体験会」を実施し、留学生が日本の文化に触れていた。

生け花では、留学生が思い

いに空間をいけ、それぞれが満足のいく作品に仕上げている。中には、花を生けず飾っていた学生もいたが、その都度先生に指導を仰ぎながら、修正を加えていた。最終的に、優秀賞はボドラグチャさんが受賞し、役員受付での展示が決まった。

また、着物の着付け体験は、今年から男性用も用意され、男女計18名が着物に袖を通し、学内を散策したり、記念写真を取り合ったりしていた。留学生も日本人に負けず

劣らず、凛々しさと美しさが際立っていた瞬間であった。

今年もこれらの催し物に学外の関係者の方々より協力を賜り、盛大の内に終了できたことにつき、紙上より関係各位に御礼を申し上げる次第である。



## インターナショナルCアワー

【6月25日（火）・ミーティングルーム2】



今年二回目のCアワーは、本学で初めて受入れを行ったパナマからの研究生カルロスさんに講師をお願いし、普段あまり知ることのない中米パナマについて紹介してもらった。

内容は、パナマの基本情報や歴史、食べ物や観光、音楽の話まで多彩に富んでいた。カルロスさん曰く、パナマは「The Melting Pot（人種のるつぼ）」という言葉で表現されるように、様々な文化や人種など異なった

要素が融合されている国だということであった。スライドを使い、わかりやすく説明してくれたこともあり、実際に写真を見ながら顔立ちの違いや食べ物など理解することができた。

発表後の質問タイムでは、歌を一曲披露してほしいとのリクエストがあり、快く一曲披露してくれた。約一時間の発表を聞き、パナマが若干身近に感じられるようになったのではないだろうか。



## インターナショナルCアワー

【4月26日（金）  
ミーティングルーム2】

今年度第一回目のCアワーが新規留学生27名に加え、在学生、教職員、北見市民の方々の参加により行われた。今年も、お互いの自己紹介を図るために「ゲームで友達の輪を広げよう!」と題し、名刺ビンゴゲームが行われた。

ゲームの内容は、最初に名刺10枚とビンゴカード1枚が全員に配られ、名刺の表面には番号が記載されており、表面に自分の名前を書き、知らない人と名刺交換をしながら、もらった名刺の裏面の番号でビンゴできれば、その人が勝ちというルールだった。

結果的には、配られた名刺が少なかったこともあり、多くの人がビンゴできなかったものの、運よくビンゴが完成した人にはプレゼントが提供された。ビンゴの完成に集中した学生もいたが、それ以上に多くの方と知り合えたことが、留学生にとって最大の収穫になったようである。

